

## 平成27年度やまと市民討議会（第1回） 開催結果

- 1 日時 平成27年10月3日（土） 10:00～16:30（本庁舎5階研修室）
- 2 テーマ 「人口減少を食い止めるアイディア」について
- 3 参加者 43名 （内訳） 一般市民 33名（男性19名、女性14名）  
高校生 10名（男性 5名、女性 5名）  
※無作為に抽出した3,000人に案内を送付
- 4 討議結果

## （1）午前の討議内容

①「大和市で人口が減少していく原因は」、②「人口減少を食い止めるキーワード」をテーマに討議を行いました。主な意見は次のとおりです。

## テーマ①人口が減っていく原因

## 環境的な問題

- ・出会いが少ない
  - ー学生は学ぶ時間が長い
  - ー働いていると忙しい
  - ーコミュニケーション不足
- ・結婚が少ない
- ・治安が悪い
- ・働く場が少ない
- ・若い夫婦の住む住宅が不足
- ・騒音など、環境が悪い

## 当事者の心配

- ・子育てへの不安
  - ー経済力
  - ー支援
- ・夫婦2人で楽しみたい
- ・こどもが欲しくない
- ・仕事に復帰できるか心配
- ・親の介護

## その他

- ・地域とのつながりが低い
- ・人口が減少してもいいのでは？

## テーマ②人口減少を食い止めるキーワード

- ・コミュニケーション能力
  - ・出会いの場
  - ・まちのイメージ
  - ・子育てのイメージ
  - ・子育て支援
  - ・縦の繋がり形成
  - ・仕事
  - ・住まい
  - ・介護
- など



## (2) 午後の討議内容

午前の討議内容を踏まえて、4つのテーマ「子育て支援環境をもっと充実させるためには」、「定住できる環境や経済的不安の解消のアイデア」「子育てしたくなるような魅力をみつけ伝える、魅力をアップするためのアイデア」「若者が出会える場や機会をつくろう」についてグループ毎に討議を行い、それぞれ4～6個の提案を行いました。提案内容は次の通りです。(☆付は、投票の結果、参加者の賛同が多かった案)

## ○子育て支援環境をもっと充実させるためには

### 【1 班】

- 市民討議会の継続的实施による課題・魅力の把握 (⇒プロジェクトチームの発足)
- プロジェクトチームで、子育て情報の発信・入手方法を楽しにするアプリの開発
- ☆子育て手続きや相談をしやすいするため、すぐやる課・何でも相談室の設置
- コミュニティセンターを活用した子育て支援の検討 (NPO と連携)
- 大昔の大家族のようなシェアハウスをつくる (空き家活用)

### 【2 班】

- ☆子育て支援のホームページ充実 (○歳と入力すると、受けられる支援一覧が出る)
- 駅・スーパーに電子掲示板を設置 (子育て情報を早く、PC を見られない人にも発信)
- コミセン主催の親子向けイベントで地域のネットワーク作り
- 母親とこどもが集える公園を充実し、母親のネットワークを強め、子育てを助け合う
- やまとん号で「泉の森」にいけることをPRして、子育てに活用する
- 3人目以降の出産に、お祝い金制度をつくる (若い親の金銭面の不安を解消)



## ○定住できる環境や経済的不安の解消のアイデア

### 【3 班】

○「近居・同居」の大和スタイルを作る（核家族化、家賃が高い課題の解消）

☆こどもが安全で自由に遊べる環境を作り、楽しかった思い出をたくさん残す

⇒ 自分が楽しく育ったまちには、戻ってきたくなる

○高齢になっても安心して住み続けられる環境づくり

⇒ シニアのビジネスを創出し、子育てビジネスに繋がると、シニアも元気になり、子育て環境も向上

○北部の保育所の充実や、子育て施策のPR

○商店街の空き店舗を活用した新しいお店の誘致 ⇒ 身近な雇用の創出

### 【4 班】

○小さくて魅力のある企業を誘致「○○のまち大和」でたくさんの雇用をつくる

☆高齢者や高校生がボランティアとして子育てのサポートにかかわる仕組みをつくる

○日中に時間のある母親、夜に時間のある学生など、仕事を「シェア」するためのマッチングを行う

○子育て世帯が市営住宅を利用できるよう、収入条件を緩和する

○定住できる魅力的な環境は既にあることをPR

⇒ 大都市へのアクセス良好！お祭りがいっぱい！外国人との交流！

○特殊な技術を学べる専門学校を誘致し、学びからまちの雇用につなげる



## ○子育てしたくなるような魅力をみつけ、伝え、アップ(向上)するためのアイデア

### 【5 班】

○男性が子育てするとかっこいいブランドを作る

⇒ イクメン写真集の発行、親子手帳づくり（母子だけでは偏っている）

☆国際交流に力を入れたグローバルな子育てができるまちのブランドづくり

○コミュニケーションを重視したこどもを生み育てるための意識改革イベントを開催

⇒ 既存のイベントに、親子をセットで巻き込む工夫を盛り込む

○「泉の森」を活用して、親子の遊び場を確保しよう

○市の子育ての魅力を発信するため、直感的に分かるホームページをつくる

### 【6 班】

○地域にゆかりある企業とタイアップして、まちの資源を工夫してPR

⇒ イベント、景観、地場野菜、市の歴史など

☆既存公園や児童施設などの活用方法を見直し、「親」と「子」で一緒に遊べる工夫を

○学校以外でも「寺子屋」など、様々なこどもの学びの場が選択できるようにする

⇒ 大学生が小学生を教えるなど、コミュニケーションの向上にもつなげる

○「ベビーカーも移動しやすい」など、平坦な地形の便利さをPR

○（市外向け）既存の方法以外のPRの知恵を出そう（大和トンネルへのPR広告など）

○（市内向け）「まちの魅力」「子育てしやすさ」を住民自身が「気付ける」ことを大切にし、住民自身が口コミでPR ⇒ 「手前みそ通信」の発行



## ○若者が出会える場や機会をつくろう

### 【7 班】

○市民討議会のように、多世代が語り合える交流の場をつくる

☆大和市で結婚相談センターや相談員を設置する

○様々な世代が主体的にかかわれる環境をつくる

○恋愛や結婚の大切さを知る機会を学校教育に取り入れる

○市内の中小企業に対し、育児支援や出会いの場を促す取り組みを行う

○大和市の様々な取組をまとめ、情報提供する

### 【8 班】

○こどもから大人まで、学校だけにとどまらないコミュニケーションの場を増やす(縦の繋がりを増やす)

⇒ スポーツ、音楽、ボランティア、防災活動など

○若者が気軽に集えるスポーツや文化センターを作り、行政、企業、市民で支える仕組みで運営する

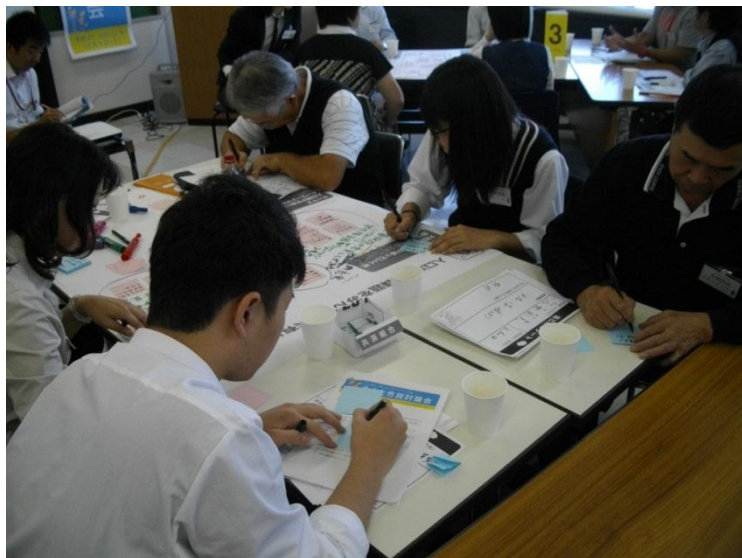
☆若者の企画で実現したイベントを学校行事に組み込み、学生の時間がなくても

参加しやすい方法をとる

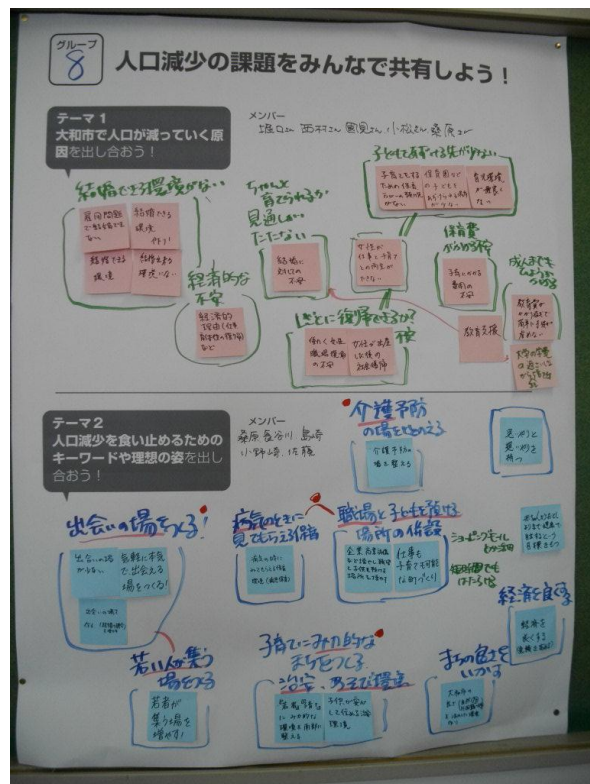
○大和市への愛着を向上させるため、地元タレントなどを企画し、ファン同士の交流を図る



## ＜討議会の様子＞



## ＜ワークシート＞



## ＜討議会の様子＞



## ＜ワークシート＞



## ＜発表の様子＞





(参考) 当日の流れ

10:00～	開会
10:10～	概要説明
10:30～	グループワーク実施方法説明
10:40～	グループワーク（1～8班で実施） テーマ①：大和市で人口が減っていく原因を出し合おう テーマ②：人口減少を食い止めるためのキーワードを出し合おう
11:50～	グループ成果の発表
12:20～	休憩
13:20～	市長あいさつ、午前中の討議の振り返り
13:30～	グループワーク（1～8班で実施） 1、2班 子育て支援環境をもっと充実させるためには 3、4班 定住できる環境や経済的不安の解消のアイデア 5、6班 子育てしたくなるような魅力をみつけ、伝え、 アップ(向上)するためのアイデア 7、8班 若者が出会える場や機会をつくろう
15:30～	グループ成果の発表
15:55～	良いと思った提案に投票・講評
16:15～	閉会・アンケート記入等